

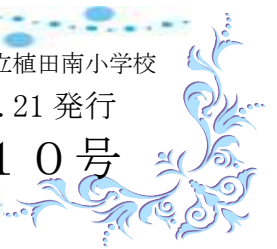


うえみなだい

名古屋市立植田南小学校

R7. 2. 21 発行

第 10 号



令和 6 年度を振り返って (児童、保護者、教職員によるアンケート結果と今後の方針について)

「植田南小教育に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。本校における教育活動をさらによりよいものにするため、児童・保護者アンケート、教職員による学校自己評価の結果をまとめ、今年度の成果と課題を振り返りました。2月に実施した学校評議員会では、学区有識者やPTA代表の皆様からご意見をいただきました。合わせてお知らせします。

① 子どもたちは、自分から進んで学習に取り組んでいるか。

児童				保護者				教職員			
4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
65.0	29.0	5.0	1.0	42.0	48.0	8.0	2.0	14.2	81.2	4.5	0.0

※ 当てはまる…4、やや当てはまる…3、(%)
あまり当てはまらない…2、当てはまらない…1
※ 評価回答者数：児童 500 人、保護者 210 人、教職員 18 人

「全国学力・学習状況調査」の結果からも、本校の児童は平均的に学力が高い傾向にあり、学習習慣が身に付いています。また、興味・関心が高く、授業に前向きに取り組むことができています。

今後は、名古屋市の教育施策「学びのコンパス」の考え方を基に、子どもたちが自

律して学び、自走する「子ども中心の学び」の実現に向け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指し、授業づくりをしていきたいと考えています。



② 子どもたちは、健康に気を付け、楽しく学校生活を過ごしているか。

児童				保護者				教職員			
4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
73.0	22.0	4.0	1.0	66.0	31.0	3.0	0.0	31.2	68.8	0.0	0.0

登下校や授業、休み時間には、笑顔で楽しく過ごす児童の姿が見られました。手洗いや日々の健康観察などに留意したり、保健委員会での取り組みや、保健だよりでの呼び掛けをしたりしたこと

で、子どもたちの意識が定着し、健康に気を付けた生活につながっていると考えます。これからも児童のささいな変化に気を付け、児童と家庭に寄り添いながら、充実した学校生活を送れるような学校づくりを目指していきたいと思ひます。



③ 自分の学習状況を分かって、学習を調整しながら、自ら主体的に学ぶことができているか。

児童				保護者				教職員			
4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
47.0	44.0	8.0	1.0	29.0	57.0	11.0	3.0	18.7	56.3	25.0	0.0

協働的な活動を積極的に取り入れたたり、複数の選択肢の中から学習材料を選ぶような準備をしたりして、児童が自己決定できるような場面を多く設定してきました。今後

は、児童が客観的視点で自己評価できるよう、評価基準表を基に振り返りの時間を確保し、次の学習計画の修正や見直しに生かしていきたいと考えています。



④ 子どもたちは、あいさつができていますか。

児童				保護者				教職員			
4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
63.0	27.0	7.0	3.0	42.0	48.0	10.0	0.0	6.3	87.5	6.2	0.0

進んであいさつをしようとする様子が多く見られました。児童会役員による呼び掛けや、PTAの方とともにあいさつ運動に取り組んだり、教職員から積極的にあいさつを交わしたりして、あいさ

つの大切さを伝えています。しかし、教職員は「できている」の割合が昨年度と比べ、減っています。相手の目を見てあいさつしたり、自ら進んであいさつしたりするといった点では、課題があると感じています。今後も学校、家庭、地域で連携を取り合っ、継続的に指導を進めていくことが必要であると考えています。



⑤ 学校は、防災・防犯対策が図られているか。

児童				保護者				教職員			
4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
				44.0	51.0	5.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

より、防犯対策の強化につながっています。しかし、教職員から、「不審者侵入時の防犯対策の意識をより高めたほうがよい」といった声もありました。今年度は、教職員を対象に、不審者対応の仕方と心構えの研修を行いました。今後も、もしもの場合に備えていきたいと考えています。



⑥ 学校は、いじめ防止への取り組みを積極的に進めているか。

児童				保護者				教職員			
4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
				39.0	56.0	5.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

いじめの早期発見、早期対応に努めています。心配な様子が見られる児童にはスクールカウンセラーへつないだり、困ったことや悩んだことがあれば気軽に話してほしいと声掛けしたりして、悩みや相談事を話しやすい雰囲気づくりもしています。さらに、「I N G（いじめのない学校）集会」や道徳の授業、日々の学習場面で、児童の心に届くよう取り組んでいます。しかし、「いじめの芽」は、なかなか見えにくいので、「いじめを受けている」「いじめをしている」という様子がないかを学校、家庭、地域で見守り、発見していくことが初期対応として大切だと考えます。また、いじめを未然に防止するためにも、学校生活全体で、一人ひとりが活躍できる場や機会を設定し、児童の自己有用感の育成を図っていくことが大切です。お子さんの様子で気になれば、お気軽にご連絡、ご相談ください。



⑦ 学年・学校だよりや学校HP等で、学校の教育活動の様子が分かるか。

児童				保護者				教職員			
4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
				61.0	32.0	7.0	0.0	31.2	68.8	0.0	0.0

普通の学習活動だけでなく、運動会や展覧会、校外学習や宿泊的行事など、様々な学校行事や体験を通して、よい成長の機会になっているといった回答がありました。授業参観や行事の様子、担任と保護者とのやり取り、家庭での家族の会話などを通して、学校の様子が伝わったと考えます。今後も、デジタル化に伴い、なごやっ子あんしんメールを活用しながら、できる範囲で子どもたちの様子を、学校・学年だよりで保護者や地域の方に紹介していきます。



○ 学校評議員会でのご意見

- ・ 地域での見守りをしている際に、子どもたちから進んであいさつしてくれ、あいさつができる子どもが多いことにとても感心している。そういった子どもたちが育ってきていることに喜びを感じている。
→ 学校での指導だけでなく、家庭や地域の方の見守りや声掛けがあってこそだと考えます。
- ・ 不審者情報が多いので、学校でも家庭でも気を付けてほしい。子どもたちへの指導は、どのようにしていくとよいのだろうか。
→ まずは不審者に会わないように、時間帯を考える、複数人で行動するなどを心掛けることが大切だと考えます。また、学校では愛知県警が推奨する「つ」…ついていかない「み」…みんなといつもいっしょ「き」…きちんと知らせる「お」…おおごえでたすけをよぶ「に」…にげる「つみきおに」を指導しているので、家庭でもお声掛けをお願いします。

令和7年度から、これまでの学校評議員制の成果を生かしつつ、「どのような子どもを育てていきたいのか」を学校と地域がともに考えていくため、なごやコミュニティ・スクール（NCS）会議を実施していき、学校運営の充実に努めてまいります。